

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
委員会報告	3
平成28年度予算審査	4・5
主な質疑	5
3月定例会 議案等審議結果一覧	6



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



いちご狩り(ふじた体験むら)

3月定例会が3月2日(水)に招集され、3月17日(木)までの16日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は6ページに掲載しています。
*なお、議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすからすやま第127号」をご覧ください。

- 1 地域防災計画見直しについて
- 2 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について
- 3 子どもの貧困対策について
- 4 介護保険制度と要支援サービスの移行問題について
- 5 ジオパーク構想の具体化について
- 6 本市俳句、短歌全国大会の実施を



平塚 英教 議員

- 1 大谷市長3期目に掲げた選挙公約の達成状況と今後の課題について
- 2 学校教育について
- 3 小中学校に勤務する教員の過重労働の実態について
- 4 烏山高校への支援策について



中山 五男 議員

- 1 市の総合計画及び各種計画の検証・成果の状況と行財政改革について
- 2 請願・陳情書により議会で可決された市道などインフラ整備の現況について
- 3 市内小・中学校の課外活動及び部活動について



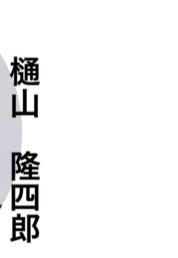
久保居 光一郎 議員

- 1 マルチコプターの導入について
- 2 降雪、台風時の学校の対応について
- 3 スクールバスについて
- 4 市内駅伝大会について



滝口 貴史 議員

- 1 人口問題と財政について



樋山 隆四郎 議員

- 1 人口減少問題における女性に向けた対策



望月 千登勢 議員

- 1 地方創生に向けた取り組みについて
- 2 鳥獣被害について
- 3 那珂川について
- 4 JR烏山駅前について
- 5 山あげ行事について



相馬 正典 議員

- 1 障害者就労施設等からの調達方針について
- 2 大学との連携について
- 3 水道施設の耐震性向上の取り組みについて
- 4 ゴミ袋の値上げについて
- 5 地域活性化について



渋井 由放 議員

- 1 地域間交流の連携強化と活性化の必要性について
- 2 地域間競争を勝ち抜くための特色づくりについて
- 3 那須烏山市の元気発信、イメージアップに親善大使、ふるさと観光大使等の必要性について



沼田 邦彦 議員

- 1 まちを活性化させる人事評価制度の導入について
- 2 お客様を引き付けるまちの魅力アップについて



小堀 道和 議員

- 1 障害者差別解消法の取り組みについて
- 2 障がい者福祉について
- 3 英語力向上について



矢板 清枝 議員

- 1 烏山駅前広場、烏山線の活用について
- 2 病中病後保育について



川俣 純子 議員

議会の動き

平成28年1月

30日○議会だより第39号発行

2月

4日○経済建設常任委員会視察研修(那珂川町・茂木町)

3月

23日○議会運営委員会
○議員全員協議会

2日

○議会運営委員会
○第2回定例会(17日まで)

7日

○議会広報委員会
11・14日
○各常任委員会

17日

○議会運営委員会

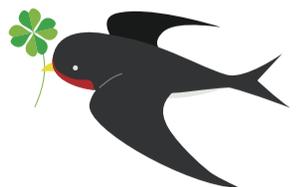
4月

13日○議会広報委員会
14日○議員全員協議会
○議会運営委員会

19日○議会広報委員会

一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字になつてゐる項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されてゐますので、そちらもご覧ください。



平成28年3月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
会議録は市立図書館及び市ホームページで
閲覧できます。



小学校の雪かきをする6年生

滝口貴史議員
降雪、台風時の学校の対応について

(問) 始業時刻遅延連絡後に登校をさらに遅らせることや、休校の措置に、判断基準はあるのか。

(答) 風速何メートル、降雪何センチ以上は休校、または何時間遅れというような明確な判断基準はない。始業時間が2時間遅れたことについては、児童生徒の安全確保の観点から交通事情等を考え、車等が多い通勤時間帯を外し、状況が落ち着いてから登校させることを考慮

して決定した。休校については、年間の授業時数の関係から、児童生徒に負担をかける場合も出てくるため、決定については慎重に対応している。一度児童生徒及び保護者に出した連絡事項を変更することは非常に混乱を招くということもあり、またスクールバス運行に際しても連絡の徹底が難しいことがあるため、中途変更はなるべくしないよう対応している。

久保居光一郎議員

市の総合計画及び各種計画の検証・成果の状況と行財政改革について

(問) 総合計画の策定は、平成23年5月の地方自治法改正により策定義務が無くなった。本市には各所管課の計画を含めると約40の計画がある。基本構想・基本計画・実施計画は必要と考えるがどのように考えるか。

(答) まちづくりビジョンとなる基本構想は必要かつ重要であり、市議会の議決を経た上で策定すべきものと考え。法改正で議決は不要となったが、この件については次期計画策定の際までには各自治体の状況や議会の意見を踏まえて検討したい。

中山五男議員

教員の過重労働について

(問) 県内の学校で教鞭をとる教員の過重労働は、以前から指摘されていながらまだ改善されていない。そこで、本市小中学校で教壇に立つ先生151名の勤務実態と改善策を伺いたい。

(答) アンケートによると、多忙の原因は部活動の指導や校内の業務等の校務で、平日は正規の勤務時間を超え2時間から3時間程度の超過勤務を行なっている。改善策として校長等に校務分掌の見直しや会議時間の短縮等を要望している。

平塚英教議員

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

(問) 本市の「地方創生」関連の2つの交付金の活用について説明を求めます。

(答) 1つ目は平成27年度の補正予算の地方創生加速化交付金。本市は地域おこし協力隊を導入し起業化を図るためのローカルベンチャー育成事業、鹿沼市との連携事業など5つの事業で8586万7千円の交付申請をしている。2つ目は平成28年度当初予算の地方創生推進交付金だが本市の地域再生計画を策定し、有効活用したい。

洪井由放議員

地域活性化について

(問) 「道の駅」は地方創生を具体的に実現していくための極めて有効な手段である。国土交通省では、平成26年度より関係機関と連携して、地方創生の核となる特にすぐれた取り組みを選定し、重点的に対応する取り組みを実施しており、茂木町や那須町の「道の駅」がその中に含まれている。本市は、数年前に「道の駅」計画を立ち上げたが現在の状況と今後の計画について伺う。

(答) 「道の駅」は平成23年3月に策定した市「道の駅」整備基本構想(素案)を踏まえ施設の位置、規模、機能等について具体的な検討を行ってきた。特にイニシャルコストの軽減や有効な資金調達的手法、安定した運営方法等が重要になることから、県内の「道の駅」の経営状況を把握、分析するとともに、先進事例の情報収集に努め市独自の整備に向け、施設のあり方を模索してきた。「道の駅」の整備は、まちづくりを推進していく上で重要な取り組みである。次期総合計画期

相馬正典議員

地方創生に向けた取り組みについて

(問) 平成28年度は那須烏山市創生総合戦略に基づき、本格的な地方創生への取り組みが展開される。どのような取り組みを優先的に進めていくのか。

(答) 平成27年度から実施している地方創生の先行型事業やまちづくりチャレンジプロジェクト、ロングライフプロジェクト事業は継続する。また、新たに雇用の創出、中心市街地の活性化を図るためユネスコ無形文化遺産への登録を契機とした観光振興、地域資源を活用したジオパーク構想の推進、中山かぼちゃ等の特産品のブランド化、地域おこし協力隊導入などに取り組んでいく。

望月千登勢議員

人口減少問題における女性に向けた対策について

(問) 女性にとって安心安全なまちとはどのようなまちと考えているか。

(答) 性別にかかわらず生きやすく働きやすい社会を実現し、将来にわたり活躍できる社会を構築することが本場の意味での女性にとって安心安全なまちにつながるかと考える。

学校教育について

(問) 学力成績の善し悪しは次の4点によると考えて



中学校サッカー部の練習風景

いる。児童生徒の持つ生れた能力と本人の努力、教員の指導力、学校の教育施設等の環境、家庭環境。その4点のうち、本市教育行政に欠けているところは何か。

(答) 教育施設については、充実した整備を図っている。教員の指導力については、研修会等を実施し資質の向上に努めているが、残念ながら全国学力テストの成績が良くない学校も散見される。他県の先進地視察を実施しながら教員の育成に努めたい。

問内の確実な実行に向け、鋭意準備を進めていきたい。

山あげ行事について

(問) ユネスコ無形文化遺産への登録後、町輪番制の維持や自治会の負担増加の

問題に市としてどのように対応するのか。

(答) 関係団体との連携をさらに密に図りながら、山あげ行事のさまざまな問題の解決、維持、及び継承のためにさらなる支援策を検討していく。



思春期教室の様子



旧七合中学校に設置されている太陽光パネル

(問) 那須烏山市男女共同参画庁内行動計画の進捗状況と今後の展開について問う。

(答) 昨年3月に暫定版計画を策定した。特に働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる。女性の活躍を最大限に活用し、次世代育成に配慮した職場環境づくりに取り組み、男女共同参画のモデルとなる事業所をめざして今年度中に計画を策定する。

樋山隆四郎議員

人口問題と財政について

(問) 平成28年度当初予算の財政状況は、一般会計予算約114億円のうち自主財源約37億円、依存財源約77億円である。このような中で「人口問題ビジョン」

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を実施するには膨大な財源が必要である。市独自の事業である庁舎や中央公園の整備、武道館建設、山あげ会館改修、広域行政事務組合の保健衛生センター建設問題、那須南病院改修等を今後10年から15

年で実施すると年間約10億円の財源が必要となる。一方、地方交付税は今後5年間で約5〜6億円減額される。また消費的経費は減らせない。このような状況の中で各事業を行なおうとすれば、どうしても財源が必要となる。財源確保のための方策として、耕作放棄地約600ha、有休農地280haを利用した太陽光発電や、那珂川、荒川の水を利用した水力発電を行い売電すれば、10〜15億円の財源確保が可能となると考える。市長の考えを伺う。

(答) 太陽光発電、水力発電、保健衛生センターの熱利用を含めて検討していきたい。

川俣純子議員

烏山駅前広場、烏山線の活用について

(問) 烏山駅前活性化事業の、整備状況を伺う。

(答) にぎわいを創出するおもてなし空間として多目的広場の整備・舗装、駐車場・街路灯の整備を予定している。目隠しフェンスの設置工事は現在進めている。ユネスコ無形文化遺産登録を控え、早期に完了するように進めている。

(問) 公衆トイレの設置計画はあるか。

(答) 駅北側の市所有の有料駐車場の駅寄りの場所に、男女別と障がい者用のトイレを設置する。

(問) 小学生の修学旅行に、烏山線と湘南新宿ラインのグリーン車を利用できないか。



烏山駅に到着した烏山線

(答) 修学旅行は、各学校で目的、移動手段、費用、安全面を検討して実施している。保護者の理解を得て烏山線の利用ができるよう取り組みたい。

矢板清枝議員

障害者差別解消法の取り組みについて

(問) 障害者差別解消法が平成28年4月1日より施行されるが、本市の今までの取り組みと今後の計画について伺う。

(答) 職員が障がい者に対し不当な差別的取り扱いをすることのないよう、職員



作業をするすずらん作業所の皆さん

対応要領を平成27年度中に策定することを目指し、現在作業を進めている。この法律の趣旨が地域社会にも十分理解されるよう、広く事業者や市民の皆様に向けた広報活動も積極的に推進していきたい。

(問) 障がい者が災害時や日常生活の中で困ったときに周囲の方の理解や支援を求めるときに、その手助けが必要な障がい者と手助けしたい人をつなぐヘルプカードの導入について伺う。

(答) ヘルプカードは、本人の意思表示や支援者が障がい者の方を理解して適切な支援をするために役立つ制度であると考えている。栃木県内では、既に宇都宮市が作成して運用している。本市においても先進事例などを参考に、調査し導入に向けて前向きに検討していく。

小堀道和議員

まちを活性化させる人事評価制度の導入について

(問) 平成28年度導入予定の人事評価制度を、まちの活性化及び職員の意欲と成果向上に結び付く制度にすべきと考えるが見解を伺う。

(答) 職員の人材育成を主に考えているが、個人個人の業務達成の喜びを共有・共感できる職場環境の構築も重要。これらの達成が市の活性化につながると信じている。

(問) そのためには各職員が市の重点課題達成のために結果を評価する評価計画

を織り込んだ具体策を自らの年度計画として策定すべきであるがどうか。

(答) そのように進めたい。

(問) お客様を引き付けるまちの魅力スポットづくり

(答) 本市の魅力スポットをさらに増やし活性化させるには、落石に真つ赤な紅葉を植樹する活動などをリードする提案実行型人間を支援し育て進展させる施策が大切だと思いが見解を伺う。

(答) 落石の紅葉の名所スポットづくりは前向きに善処したい。また、市の活性化のために自ら提案し行動する市民や団体を、公共サービスの担い手の育成という視点から支援していきたい。



清流那珂川沿い落石の山々

沼田邦彦議員

地域間交流の連携強化と活性化の必要性について

(問) 八溝山周辺定住自立圏構想への加盟に向けた年度内の展開、進捗状況について伺う。

(答) 本市が新たに加盟す

る場合、2市6町間の協定は白紙撤回となり相当な迷惑をかけてしまい、また再協定に長期間を要することが想定されるため、加盟を断念する考えである。



市表彰式の様子

地域間競争を勝ち抜くための特色づくりについて

(問) 県内初となる4世代家族への敬意と感謝を込めた表彰の年度内制度化への取り組みについて伺う。

(答) 市表彰条例に基づく表彰として検討している。市表彰選考委員会の審査を経て、10月の市表彰式に合わせ実施を考えており、提言を十分尊重し対応していきたい。

(問) 市知名度向上とふるる里那須烏山のイメージアップを図るため早急に取り組むべき課題と考えるが。

(答) 実施に向け新年度予算に計上している。那須烏山市の未来大使としてふさわしい制度づくりを進めていく。

経済建設常任委員会

研修報告

2月4日に那珂川町の県北木材協同組合において「バイオマス燃焼発電所及び熱利用について」を研修しました。同組合では廃校となった中学校跡地に製材工場と木質バイオマス発電所を設置。間伐材等を木材乾燥や発電用の燃料として利用し、その廃熱でマンゴー栽培やうなぎの養殖を行うなど、林業を核に幅広く事業を展開しています。

また同日、家庭から出る生ごみに加え畜糞尿、枯葉等を一括して堆肥化する茂木町の施設「有機物リサイクルセンター美土里館」を視察しました。この施設により、ごみの減量化が図られるほか、落ち葉の収集業務を通じた地域コミュニケーションの活性化や健康増進、環境意識の高揚などの効果も生み出されています。

どちらも複合的な取り組みにより様々な効果をあげており、本市としても取り入れるべきところがあるのではないかと感じる大変有意義な研修でありました。

委員長 川俣 純子



那珂川町のバイオマス燃焼発電所にて

平成28年度 予算審査

平成28年度一般会計、7特別会計、水道事業会計の予算については、所管の常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会での審査の中で出された意見等が本会議において報告された内容を掲載します。

総務企画常任委員会

◎所管する課等
 総合政策課、総務課、
 税務課、会計課、議会
 事務局、監査委員、選
 挙管理委員会及び固定
 資産評価審査委員会

総合政策課

○合併当初からの課題である新庁舎整備については、速やかに具体的建設候補地を明示し、迅速かつ計画的に整備基金を積み立て、その実現に向けて努められたい。

○多種多様な事業が実施されているが、計画策定に時間がかかり、実際に実行される内容が充分でないように見受けられる。計画は必要最低限なものに絞り、市民が見ても分かり易く簡潔明瞭なものとし、その計画の成果に重きを置いて取り組まれたい。

総務課

○自警団、消防団、子ども見守り隊等の防犯組織と連携した各自治会の自主防災組織の立ち上げを援助し、市民自ら地域の安心・安全を守る活動を促進されたい。また、公用車をパトカーの

白黒配色に塗装する等の工夫を凝らし、市民の更なる交通安全及び防犯意識を高めるよう努められたい。



バス停まで一緒に登校する子ども見守り隊

○行政の執行には技術職員が必要不可欠であるが、新規採用がないため退職による業務への影響が懸念される。採用条件の緩和等を検討するとともに、年間を通して募集するなど、技術職員の確保を図られたい。

税務課

○自宅でインターネットを用いて申告するe-Tax等、利便性の高い納税方法を周知・提供されたい。

○市民の税負担の公平感を保つために、新規の滞納が生じることのないよう今後も継続して努力されたい。

会計課

○金利の低迷による影響も少なからずあると思われるが、安全性を最優先に資金を確保かつ有利に管理・運用されたい。

議会事務局

○監査委員事務局が議会事務局内に設置される。これを契機として、より開かれた行政が図られるよう努められたい。

文教福祉常任委員会

◎所管する課
 市民課、健康福祉課、
 こども課、学校教育
 課、生涯学習課、文化
 振興課

各課横断的なもの

○関係機関との連携を強化し、市民の健康増進、疾病予防につながる施策である特定健診・がん検診事業、健康増進健康づくり事業、こどもの健診事業などの推進にさらに尽力され、医療費増大の抑制に努められたい。



高血圧予防減塩レシピの試食(健康福祉まつり食育コーナー)

市民課

○国民健康保険特別会計は、加速する高齢化の中、被保険者数の減少及び所得水準の低下による

歳入減のマイナス要因により、一般会計からの繰入れに頼る厳しい運営となっている。財源確保に努められるとともに引続き健全運営を図られたい。

熊田診療所

○熊田診療所においては、近年、疾病予防や健康増進など地域交流活動を展開されているようだが、さらに地域医療の拠点となりうる地域に根ざした経営に努められたい。

健康福祉課

○新しく始まる介護予防・生活支援サービス事業においては、万全の体制で取組まれたい。

こども課

○保育士の確保が全国的に困難になっており問題となっているが、本市においても嘱託職員でなんとか人員を確保し運営している状態である。今後の運営に支障をきたすことのないよう計画的な正職員の確保に努められたい。

学校教育課

○文武両道教育支援推進事業の中のスーパーティーチャー育成事業では市内小中学校の教員を教育指導の成果をあげている先進地で研修させ、本市の状況との比較、調査分析を十分に行うことで、指導者となるスーパーティーチャーの育成と児童・生徒の学力向上に資されたい。

中学生海外派遣事業

○中学生海外派遣事業は、生徒が貴重な体験を得ることのできる事業であるが、本市の事業としては



メノモニター市の子どもたち

実施から10年を経過し見直しをする時期であると考える。今までの成果及び反省をもとに、視点を改めて調査研究し、よりよい事業になるよう取組まれたい。

英語教育推進事業

○英語教育推進事業では、事業の成果、状況についての調査結果を迅速に反映させ、改善している点は評価できるものである。現状を常に把握し必要を見極め、今後も継続的に事業の改善を行うことで、児童・生徒の能力向上に努められたい。

生涯学習課

○那須烏山市武道館の整備については、来年3月の完成に向け遺漏の無いようしっかりと進められた。併せて旧南那須武道館の跡地整備の調整を速やかにを行い、未だに支出されている賃借料などの経費の削減に努められたい。

ひつ迫する市の財政状況

○ひつ迫する市の財政状況を鑑みると、今後の施設等の使用については受益者負担が必要と思われる。使用状況その他現状を調査分析し、施設使用

の有償化、使用料の改定について検討されたい。

文化振興課

○烏山の山あげ行事のユネスコ無形文化遺産登録が、平成28年11月に予定されている。まずは今年度の山あげ行事の成功に向け努められたい。また、これを好機と捉え、関係機関との連携強化を図った効率的なPR等を行い、重要課題である山あげ行事の存続、継承についても引き続き尽力されたい。

長者ヶ平官衙遺跡

○長者ヶ平官衙遺跡、烏山城跡の整備については、将来を見据えた計画をたてるとともに、それに基づいたしっかりとした対応を期待する。



長者ヶ平官衙遺跡の発掘作業風景

経済建設常任委員会

◎所管する課等
 農政課、商工観光課、
 環境課、都市建設課、
 上下水道課及び農業
 委員会

農政課

○農林水産物の六次産業化、地域ブランド化は本市の生き残りのためには

欠かすことのできない取り組みである。中山かほちやも含め1つでも2つでも成功事例を生み出せるように関係機関と力を合わせ、あらゆる可能性を探りチャレンジされたい。

農業従事者の高齢化

○農業従事者の高齢化、後継者不足は本市の農業を取り巻く大きな課題の1つである。新規就農者への技術面・資金面での支援、農業法人や営農集団の設立や経営に関する支援などを充実させ、今後の担い手の確保・育成にさらに努められたい。

水利費が農家の大きな負担

○水利費が農家の大きな負担になっている。また、農地集積の妨げになっていることも否めない。水利の維持管理には費用がかかるものであり、制度的にも簡単に解決できる問題ではないことは承知しているが、機会を捉え国県に窮状を訴えるなど、解決への方策を模索されたい。

商工観光課

○平成28年度からまちづくり課に一部の業務が移管することにより、各種イベントに対応するマンパワーの減少が想定される。過度な負担にならないよう全庁的な協力体制で臨まれたい。また、駐車場警備など職員でなくとも対応できる業務については外部委託も視野に入れ、効率的かつ効果的な運営を心がけたい。

ユネスコ無形文化遺産登録

○ユネスコ無形文化遺産登録に向け、山あげ会館の



改修予定の山あげ会館

整備に取り組んでいるところであるが、計画では山あげ祭をまたぐ工期とのことである。急ぎで整備が必要なものとして、山あげ祭の見極め、山あげ祭の際に不便を来すことのないよう取り組まれない。

環境課

○ごみ処理に係る費用は増加傾向にあるが、安易に市民に負担を求めることは慎むべきと考える。まずは市民の協力を得て分別収集を徹底し、確実なリサイクルを実施することで費用の圧縮に努められたい。なお、市民の協力を得るためには、啓発が不可欠と考える。小中学校で環境教育を推進するとともに、例えば「ゴミの日」を設けるなど、家庭から環境を考えるきっかけを提供するような取り組みを検討されたい。

都市建設課

○今後、市全体の予算規模が縮小していく一方で、維持管理に係る経費は増大し、新たな道路整備に充てる費用は限定的にならざるを得ない。投資的

主な質疑

行政不服審査会設置条例の制定について

議員 行政不服審査会を必要とするような事案が発生し審査会ができる場合、どのような弁護士にお願いをするのか。

答弁 顧問弁護士は前の議会で採択されお願したところであるが、行政不服審査会の委員を依頼する弁護士は中立性が求められるため、顧問弁護士とは別の方をお願いしたい。

職員の降給に関する条例の制定について

議員 人事評価の導入に伴う条例制定とのことだが、評価基準はしっかりとできているのか。またはこれからつくっていくのか。

答弁 県の人事評価の項目等も参考にし、行政評価と姿勢評価を進めることになる。しっかりとした理解と、公平な評価ができるかが1番の問題である。職員へは人事評価の研修会を開催する。職務が多岐にわたっており一定の評価ができるかという問題もあるため、今後さらに研究を進めていきたい。

庁舎整備基金設置及び管理条例の制定について

議員 庁舎整備基金は、新庁舎建設にしか使わな

3月定例会での、議員質疑の中から主なものを要約して掲載しています。会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

議員 新しい庁舎を建設する場合の経費、既存の施設を活用し本庁舎として整備する場合の経費、いずれにも活用できるものと考えている。

議員 庁舎整備費に合併特例債を使うのか。

議員 基本的には、合併特例債も活用していきたい。

嘱託職員及び臨時的任用職員の任用、給与その他の勤務条件に関する条例の一部改正について

議員 新たに導入する地域おこし協力隊の賃金を定めるものとのことだが、地域おこし協力隊は相当な知識と能力、経験が必要となる。そういった状況の中で、月額16万6千円、3名を採用できる見込みがあるのか。

議員 地域おこし協力隊は、任期終了後この地域においての就業、定着を考えている。任期中から副業も認め、任期終了後に本業になるような仕組みづくりを進めること採用につなげていきたい。

平成27年度一般会計補正予算(第4号)について

議員 営業戦略事業費97万7千円の内容を伺う。答弁 地域創生加速化交付金を使い鹿沼市と連携し



鹿沼の屋台行事と連携する山あげ行事

平成28年度当初予算に関する総括質疑

議員 庁舎整備比較検討調査費はどのようなものか。

議員 当面の間、既存の公共施設を活用した暫定的な運用を検討していく。その中で今後、財政的な負担を極力抑制するため具体的なシミュレーションを行う費用である。

議員 防災スペシャリスト養成の内容について伺う。



庁舎3階から救助袋を使い避難訓練

議員 災害時にしっかりと対応できる職員の養成を目的して国が行う研修に定期的に派遣し、危機管理に迅速かつ的確に対応できる人材の育成を進めるものである。

議員 放課後児童健全育成事業費が増額したのはなぜか。

議員 親元就農等も含め国の青年就農給付金事業に該当しない新たに就農した方に給付する。28年度は2人分を計上している。

議員 親元就農等も含め国の青年就農給付金事業に該当しない新たに就農した方に給付する。28年度は2人分を計上している。



市内の田植体験の様子

議員 地域雇用創造協議会交付金720万円について伺う。

議員 この事業は3年目の本年3月をもって国の委託期間は終了するが、3年前の7月から始まっているため、残る3カ月分の事務諸経費を計上している。

議員 プレミアム商品券発行支援事業費について伺う。答弁 プレミアム分15%の1500万円を補助し総額1億1500万円の発行額を想定している。

議員 介護予防生活支援サービス事業について伺う。

議員 介護保険法の改正に伴って、平成28年度から要支援1と2の方を対象とした介護予防生活支援サービス事業を行うものである。

議員 土地開発基金2億円の管理・運用について伺う。

議員 現在定期預金の利子が非常に低くなっている。会計管理者と協議しながら複数の基金をまとめて預け入れることで、利率のいい運用ができるのではないかと考えている。

議員 消耗品費等で、器具備品等を購入する場合があるのか。また購入した物品はしっかりと管理・保管されているのか。

議員 一定以上の金額あるいは耐用年数をもったものは全て備品購入費に計上しているため、消耗品費で備品購入等はない。購入した備品は台帳に記載し、破棄するまで管理している。

議員 50歳前後で能力のある職員を課長に昇任させてはどうか。努力を重ねている職員が報いられるような人事を行ってほしい。

議員 平成28年度は数名の新たな課長が誕生する。意欲、能力等をよく勘案しながら、それに長けている職員については大いに登用していきたい。

3月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)			議案等			審議結果			議案等			審議結果																																																												
議案第1号	議案第12号	議会委員会設置及び運営条例の一部改正について	可決	議案第13号	平成27年度熊田診療所特別会計補正予算(第1号)について	可決	議案第14号	平成27年度介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	議案第15号	平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	議案第16号	平成27年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	可決																																																									
議案第20号	議案第17号	庁舎整備基金設置及び管理条例の制定について	可決	議案第18号	平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について	可決	議案第19号	平成27年度水道事業会計補正予算(第4号)について	可決	議案第20号	証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について	可決	議案第21号	字の名称の変更について	可決																																																									
議案第24号	議案第22号	監査委員条例の一部改正について	可決	議案第23号	市民ふれあい農園の指定管理者の指定について	可決	議案第24号	行政不服審査会設置条例の制定について	可決	議案第25号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等について	可決	議案第26号	非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決																																																									
議案第25号	議案第25号	職員定数条例の一部改正について	可決	議案第26号	手数料条例の一部改正について	可決	議案第27号	健康センター設置及び管理条例の制定について	可決	議案第28号	消費生活センターの設置、組織及び運営等に関する条例の制定について	可決	議案第29号	平成28年度熊田診療所特別会計予算について	可決																																																									
議案第26号	議案第26号	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	可決	議案第30号	平成28年度農業集落排水事業特別会計予算について	可決	議案第31号	平成28年度下水道事業特別会計予算について	可決	議案第32号	平成28年度簡易水道事業特別会計予算について	可決	議案第33号	平成28年度水道事業会計予算について	可決																																																									
議案第27号	議案第27号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	可決	議案第34号	郷土資料館設置及び管理条例の廃止について	可決	議案第35号	議案第36号	議案第37号	議案第38号	議案第39号	議案第40号	議案第41号	議案第42号	議案第43号	議案第44号	議案第45号	議案第46号	議案第47号	議案第48号	議案第49号	議案第50号	議案第51号	議案第52号	議案第53号	議案第54号	議案第55号	議案第56号	議案第57号	議案第58号	議案第59号	議案第60号	議案第61号	議案第62号	議案第63号	議案第64号	議案第65号	議案第66号	議案第67号	議案第68号	議案第69号	議案第70号	議案第71号	議案第72号	議案第73号	議案第74号	議案第75号	議案第76号	議案第77号	議案第78号	議案第79号	議案第80号	議案第81号	議案第82号	議案第83号	議案第84号	議案第85号	議案第86号	議案第87号	議案第88号	議案第89号	議案第90号	議案第91号	議案第92号	議案第93号	議案第94号	議案第95号	議案第96号	議案第97号	議案第98号	議案第99号	議案第100号

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

(起立による採決)		審議結果	議員別賛否一覧																
議案等	審議結果		相馬	小堀	滝口	矢板	望月	田島	川俣	久保	渡辺	高徳	佐藤	沼田	樋山	中山	高田	小森	平塚
議案第19号	職員降給に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	職員給与条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	自家用有償バス設置、管理及び使用料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	重度心身障害者医療費助成条例及び妊産婦医療費助成条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	平成28年度一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	平成28年度国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	平成28年度後期高齢者医療特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	平成28年度介護保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※掲載は採決順で、議長(佐藤議員)は表決に加わらない。 ※議案第18号、第21号～第23号、第28号、第36号、第1号～第9号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決。

議会を傍聴してみませんか 議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(TEL0287-88-7114)

6月定例会は、6月7日(火)開会予定です。 ※正式な日程は5月31日に開催される議会運営委員会で決定されます。

市民からのご質問

Q 議会だよりを県民だより並みの再生紙にして費用を抑えてはどうか?

A 本市の印刷部数では、県民だよりの紙質にした場合も費用は変わりません。再生紙で単価が低いものの中から、市民の皆さんが読みやすい現在の紙を採用しています。

議案等	審査結果
議案第1号 専決処分の承認を求めることについて(税条例の一部を改正する条例の一部改正について)	承認
議案第2号 行政組織及び事務分掌条例の一部改正について	可決
議案第3号 国民健康保険税条例の一部改正について	可決

1月臨時会

1月29日(金)に招集され、提出された次の議案をすべて全会一致で承認、可決しました。

3月定例会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
3月 2日(水)	開会・上程・採決・付託	4人
3月 3日(木)	一般質問	11人
3月 4日(金)	一般質問	21人
3月 7日(月)	一般質問	19人
3月 8日(火)	予算総括質疑	3人
3月 17日(木)	上程・報告・採決・閉会	2人
計		60人

あしがき

移り行く季節の中で色とりどりの花を愛でる美しい季節の到来となりました。美しい庭園の魔術師ターシャ・テューダは辛い忍耐を必要とする冬は、その先にある一斉に花開く、季節の輝きが待っていることを考えて

『想像力を枯らさずに』暮らすようにと話しています。

こんな生き方をしたい
こんなまちにしたい

想像力を膨らませることが人を・まちを元気にするのかもしれない。

誰もが自分らしく生き働ける社会に向けて、人権に配慮した地方創生となるために、市民皆さまの大きな想像力はかけがえのないものと感ずるのは私だけでしょうか。

あちらこちらで聞える小さな前向きな向春の風に多くの方が気付いてと願ってあげたい。

(望月千登勢議員)

